

第5章 新居浜市観光振興に向けた実践プランの提案

5-1. 実践プランの概要

第5章では、前章で示した3つの基本戦略から「市場におけるターゲット」、「実施の効果」を明確にし、新居浜市の現状を踏まえた実施可能性の高い施策を「実践プラン」として決めました。

実践プランは、新居浜市の実態を反映した戦略の具体化案であり、今後5年間で重点的に取り組むべき施策となります。

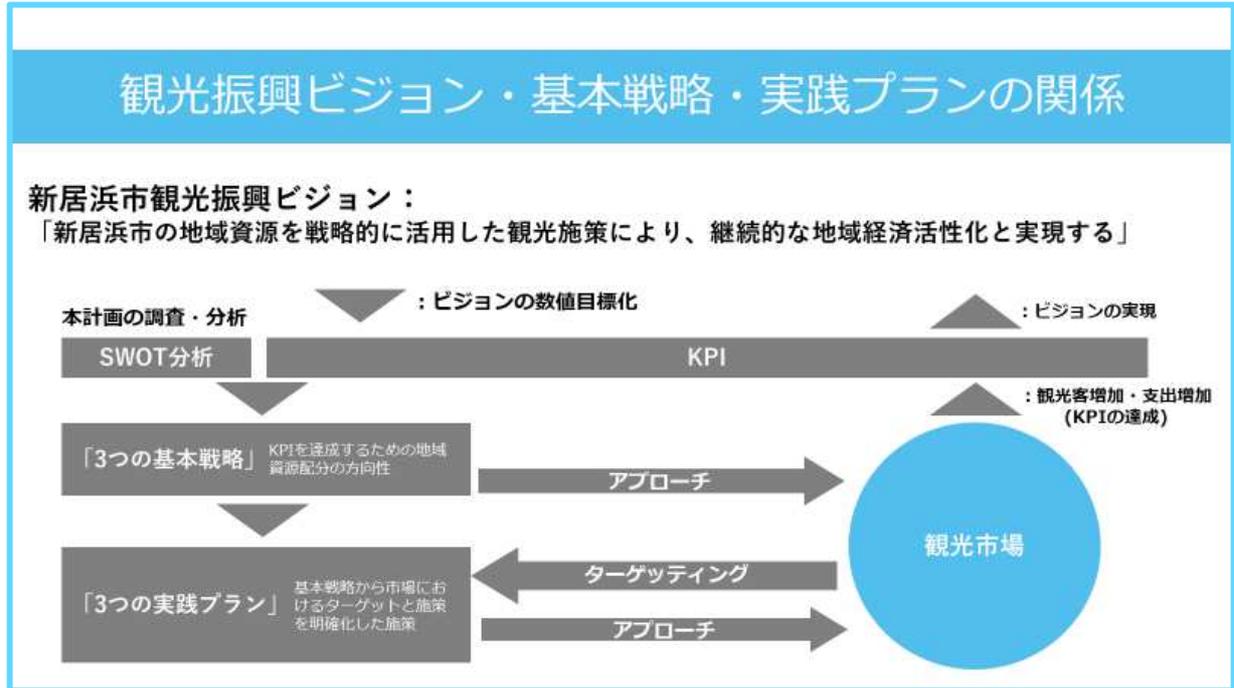


図 19. 「新居浜市観光振興ビジョン」「KPI」「基本戦略」「実践プラン」の関係図

ターゲット

「マイントピア別子を訪れている観光客」

→既にマイントピア別子を訪れている観光客に、他の産業遺産群や自然の魅力を伝えることにより、市内周遊を促す。

「関西地方・中国四国地方の登山客」

→日帰り登山が可能な範囲からの誘客を実現する。

「関西地方・中国四国地方における自然学習旅行」

→日帰りでの学習も可能な範囲からの誘客を実現することにより、段階的に全国の学習旅行ニーズの獲得を狙う。

「実践プラン1」の概要

観光客調査においては、観光客が市内周遊をしない傾向と、多くの観光客が新居浜市の自然景観を見ていない傾向がわかりました。そこで、新居浜市における産業遺産群に代表される観光資源と、豊かな自然の観光資源を結びつけることによって、価値の高い「周遊型観光」「自然の体験型観光」を実現し、新しい新居浜市の観光の魅力創出を目指します。これにより、既存観光客のリピーター化及び新規観光客の獲得を狙います。

特に年間約 67 万人の観光客が訪れている、マイントピア別子端出場・東平ゾーンと別子山地区との連携を強化し、産業遺産群や各季節における自然景観、植物の見所などを提案することにより、滞在時間の延長を図ります。

「関西地方・中国四国地方の登山客」の誘客に向けては、各季節における自然景観や植物の見所も含めた登山ルート等の情報発信に努めます。

「関西地方・中国四国地方における自然学習旅行」の誘致に向けては、当該地区における学習効果の高さについての情報発信や、自然の魅力を味わえるアクティビティの開発に努めます。

期待される効果

①観光振興への効果

「新規観光客の獲得」「新居浜市の滞在時間の延長」「観光消費単価の改善」

②他の行政施策への効果

「産業遺産群の保存・継承」

「実践プラン1」の具体的な内容

実践プラン1の実現に向けては、別子山地区において「自然・産業遺産群の観光拠点機能」、「登山拠点機能(飲食機能・物販機能)」、「レクリエーション機能」、「学習拠点機能」、「宿泊機能」が必要になります。

そこで、別子山地区全体を次のようにゾーニングし、観光振興に向けた基本方針を整理しました。各エリアの魅力を高めつつ、エリア相互の連携を強化することにより、ターゲットの周遊を図ります。



図 20. 別子山地区の観光振興ゾーニング図

実践プラン1の実現に向けた別子山地区の観光振興基本方針

①別子銅山産業遺産エリア

- ・マイントピア別子端出場ゾーン・東平ゾーンとの連携強化による誘客促進
- ・別子銅山の歴史や環境学習の拠点としての活用

②観光・登山・学習拠点エリア

- ・旧別子観光センター跡地活用による拠点施設の整備
- ・赤石山系への登山拠点としての機能強化
- ・筏津坑を活用した産業遺産学習の拠点整備

③宿泊施設、山野草・高山植物鑑賞拠点エリア

- ・森林公園ゆらぎの森を拠点とした周遊型・体験型観光の推進
- ・パーゴラ、遊歩道の活用による山野草、高山植物鑑賞拠点機能の強化

各エリアの連携の具体例

①マイントピア別子・ゆらぎの森セットプランの開発

マイントピア別子端出場・東平ゾーン観光と森林公園ゆらぎの森「オーベルジュゆらぎ」の宿泊を、登山客向け、学習旅行の需要に合致したパッケージ化による旅行商品化を目指します。

②「花めぐり拠点」の整備

森林公園ゆらぎの森のパーゴラ及び遊歩道の活用による山野草、高山植物の鑑賞拠点機能を強化し、マイントピア別子から森林公園ゆらぎの森、さらには四国中央市の翠波高原、霧の森へと続く広域型の花めぐり周遊ルートを構築します。

③旧別子観光センター跡地の利用

基本方針の実現には、各エリアをつなぐ拠点施設が必要になります。そこで、地理的にも機能的にも重要性の高い「旧別子観光センター跡地」の活用を図ります。「産業遺産観光・学習」、「登山」、「飲食・物産販売」、等の拠点としての機能を連携強化し、エリア全体の魅力を高めていきます。

ターゲット

「新居浜市を訪れているビジネス関連客」

→既に新居浜市を訪れている多くのビジネス関連客をターゲットにすることにより、観光関連消費の拡大を狙う。

「実践プラン2」の概要

新居浜市は工業都市として発展し、多くの住友関連企業が立地していることから、多くのビジネス関連客が新居浜市を訪れています。しかし、本計画に係る調査によって、ビジネス関連客の支出は、宿泊や交通などの最低限の消費に留まっており、大きな機会損失であるため、早急に対策を講じる必要があります。

そこで、これらのビジネス関連客のニーズに合わせた観光や、お土産品などを積極的に提案することにより、観光消費単価の改善を狙います。

期待される効果

①観光振興への効果

「観光消費単価の上昇」

②他の行政施策への効果

「新居浜市シティブランド戦略」「新居浜ものづくりブランド」「新居浜の逸品」

「実践プラン2」の具体的な内容

①ビジネス関連客に向けた各種サービスプランの策定と提案

新居浜市に宿泊しているビジネス関連客に向け、ビジネスホテル周辺の飲食店マップ(クーポン付き)の作成や、マイントピア別子「別子温泉～天空の湯～」との連携によるビジネス割引などの各種サービスプランを策定し、積極的に提案していきます。

②ビジネス関連客に向けたお土産品の開発

新居浜市の資源や技術を活用し、ビジネス関連客のニーズに合致したお土産品の開発に取り組みます。観光のお土産品という発想の枠にとらわれず、ビジネス小物等の様々な商品開発に取り組みます。例えば、別子銅山をモチーフとした銅で作られた名刺入れ、ネクタイピン、スマホケースなどを、市内の各種団体、民間事業者、教育機関等と共同で開発、販売します。

③ビジネス関連客に向けた JR 新居浜駅周辺の利活用

多くのビジネス関連客が利用していると推察される JR 新居浜駅及びその周辺施設の効果的な利活用により、ビジネス関連客の消費増加を狙います。観光情報発信機能、お土産品の物販機能(上記②で開発したお土産の販売)、飲食機能、その他ビジネス客のニーズに合致したサービス提供機能の整備を図ります。

ターゲット

「中国・四国地方における子どもを持つファミリー層」

→ファミリー層の需要を確実に取り込むために、日帰り可能な中国・四国地方を範囲としました。特に中国・四国地方内には子どもが一日中楽しめる施設が、首都圏・関西圏等の都市部と比べて少ないことから、「子どもを持つファミリーが一日楽しめる新居浜観光」を提案することによって、需要の獲得を狙います。

「実践プラン3」の概要

新居浜市では現在、「新居浜市シティブランド戦略」に取り組んでいます。この戦略では、「新居浜市以外の出身(転入者)、20代後半から30代で、小さな子ども(未就学児)がいるママ」をシンボルターゲットに、様々な側面で子育てのしやすい環境の整備を図っています。

また、新居浜市の合計特殊出生率は1.80(平成20-24年)であり、四国内で最も高く、愛媛県全体の1.50(平成20-24年)、日本全体の1.43(平成23年)を大きく上回っていること、さらには、「主婦が幸せに暮らせる街」ランキング全国813市中9位(学研パブリッシング：雑誌「aene(アイーネ)」平成26年)であることなど、子育てのしやすい環境に関する実績もあります。

こうした背景に加え、新居浜市には「マイントピア別子端出場ゾーン」における「あかがねキッズパーク」「別子温泉～天空の湯～」や「愛媛県総合科学博物館」を筆頭に、「滝の宮公園」「山根公園」「黒島海浜公園」といった緑豊かな公園や、海水浴やバーベキューを楽しめる「マリンパーク新居浜」など、家族で楽しめる様々な観光資源が点在しています。

こうした観光資源を繋ぎ、ファミリーで「テーマパーク」のように一日中楽しめる新居浜観光を提案することによって、ターゲットである「中国・四国地方における子どもを持つファミリー層」の需要の獲得を狙います。

期待される効果

①観光振興への効果

「観光消費単価の上昇」「新規観光客数の増加」

②他の行政施策への効果

「新居浜市シティブランド戦略」「定住・移住者の増加」

「実践プラン3」の具体的な内容

①ファミリー層に向けた周遊プランの策定(新居浜市のテーマパーク化)

各観光施設等の連携により、子どもを持つファミリー層が一日中新居浜市を楽しめる周遊プランの策定や情報発信を図ります。単に施設を回るだけでなく、季節ごとに異なったイベント等を実施することによって、リピーターを生む仕掛けを工夫します。

②市内の公園施設等の充実と利活用

市内の公園施設において「大型複合遊具」や「幼児専用遊具」の整備を検討するなど、ファミリー層に向け積極的な活用を図ります。こうした整備・活用は、観光振興だけでなく、市民の生活の質や満足度を改善することにも繋がります。



テーマ	観光施設・公園等
学び・遊びゾーン	あかがねミュージアム、愛媛県総合科学博物館、マイントピア別子 滝の宮公園、山根公園、黒島海浜公園
スポーツ・ アクティビティゾーン	マリンパーク新居浜、黒島海浜公園、グリーンフィールド新居浜 山根公園
癒し・団らんゾーン	滝の宮公園、池田池公園、森林公園ゆらぎの森、マイントピア別子

図 21. 新居浜市のテーマパーク化(イメージ)